

# 東部 NN 通信

= 第 62 号 =  
令和7年12月22日発行

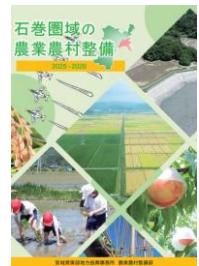
## About—

「東部NN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。

掲載希望の情報等がありましたら当部農村振興班までご一報ください。

今後ともよろしくお願いします。

## ► お知らせ ◀



「石巻圏域の農業農村整備 2025-2026」を発行しました。紙媒体の配布、[当部HP](#)で公開を行っています。

## Contents—

上下堤・川下地区安全祈願祭の実施	1
特定家畜伝染病発生時における防疫演習を実施、	
特定家畜伝染病発生時における机上防疫演習を実施	2
石巻圏域の農業用用排水施設を紹介（第5弾）、	
石巻産オリーブの収穫、宮戸産桃の収穫	3
「田んぼの学校」実施状況、	
共同活動中のクマ被害に注意	4

## 上下堤・川下地区安全祈願祭が実施されました



▲ 現在の上下堤地区



▲ 鎌入れの儀の様子

8月8日、小野市民センターにおいて「農業競争力強化農地整備事業 上下堤・川下地区 安全祈願祭」が執り行われました。式典には、渥美巣東松島市長や高橋宗也宮城県議会議員をはじめとする来賓、工事関係者、地権者ら多数が出席し、工事期間中の無事故・無災害を祈願しました。

本地区（受益面積約105ha）の農地は、これまで区画が小さく、農道や水路も老朽化していたため、大型機械の導入や効率的な水管管理が困難な状況にありました。本事業は、ほ場の大区画化や用排水路の整備、換地による農地の集団化を総合的に実施するものです。これにより、生産性の向上と高収益作物の導入を促進し、競争力のある農業経営の確立を目指します。

当日は、代表者による神事が厳かに行われた後、渥美市長、高橋県議会議員、武田健久東部地方振興事務所長より祝辞が述べられました。最後には、実行委員会の梅森委員長が「安定した農業経営の確立と、多面的機能の持続的な発揮に向け努めていく」と決意を述べ、式典は終了となりました。



農村振興課作成 実験動画 「仕組み丸わかり！模型で実験  
『田んぼダム～普段は田んぼ、時々ダム～』」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tanbodamu-jikken.html>





## 特定家畜伝染病発生時における防疫演習を実施しました



▲ 防護服の着衣演習



▲ 家畜の積込演習

10月22日、東松島市小松上二間堀地内において、宮城県東部地方振興事務所、宮城県建設業協会石巻支部、石巻地域畜産振興協議会の共催による「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習」が開催され、関係者102名が参加しました。

本演習は、昨年度管内で発生した高病原性鳥インフルエンザの対応経験を反映したもので、今回は、農場内での埋却が困難なケースを想定し、新たに「農場外の埋却地へ搬出する際の運搬車両への積込み」を演習項目に追加しました。参加者は、防護服の着脱手順の確認に加え、ウイルス拡散防止のため荷台をシートで覆う密閉措置や念入りな消毒など、実践的な演習を実践しました。

演習を通じて、運搬時の効率的な手法や安全管理についての課題も確認されました。県では、今後も関係機関と密に連携して、迅速かつ的確な初動対応体制の構築と、地域住民の安心・安全の確保に努めてまいります。

## 特定家畜伝染病発生時における机上防疫演習を実施しました



▲ 机上防疫演習の様子

11月2日、部内において特定家畜伝染病の発生時に備えた机上防疫演習を実施しました。

迅速な防疫措置を行うためには、作業に必要な資機材を滞りなく現場へ投入することが重要となるため、今回の演習では、発生農場の敷地内に埋却地を設けるケースを想定し、埋却作業に不可欠なバックホウ、夜間作業を支える照明器具、家畜・土砂運搬用のダンプトラック等について、具体的な配備計画の作成を行いました。

職員は、現場状況に応じた必要数量の算出や配置手順のシミュレーションを行い、効率的な防疫措置の手法を再確認しました。今後も実践的な検証を重ね、万全の防疫体制構築に努めてまいります。



## 石巻圏域の農業用用排水施設を紹介（第5弾）



▲浜市排水機場

事業概要	
事業名	県営松島基地周辺 障害防止対策事業
受益面積	170.2ha
関係市町村	東松島市（旧鳴瀬町）
関係土地改良区	鳴瀬土地改良区 (旧桃生郡鳴瀬町小野土地改良区)
造成完了年度	平成3年度

### Topics

#### 石巻産オリーブの収穫が行われました



#### 東松島市宮戸で桃の収穫が行われました



農業用用排水施設には、用水路、排水路、頭首工、揚水機場、排水機場、ため池、ダムなど多種にわたり、農業生産だけでなく、洪水防止や景観形成などの多面的機能も有しています。

そのため、非農家が管理に参画する管理体制の在り方について考えていただければと思い、施設の成り立ちなどを紹介しています。

第5弾として紹介するのは、鳴瀬川左岸にある「浜市排水機場」です。

この施設の歴史は、地域の特殊な事情と深く結びついています。現在の航空自衛隊松島基地がある場所は、かつては湿潤地や排水路が広がり、自然の遊水機能を持っていました。しかし、自衛隊基地の拡張工事により、これらの湿地帯が埋め立てられることとなり、地域一帯の雨水を調整していた機能が失われ、既存の施設だけでは排水しきれず、農地が冠水することが懸念されました。

地域住民の要望を受け、昭和52年に「県営松島基地周辺障害防止対策事業」として採択され、平成3年の完工まで、13年もの歳月を経て造成されました。

浜市排水機場が造成されたことにより、「浜市排水路」や「浜市南排水路」などから集めた水を鳴瀬川へ排水することで、地域を水害から守る役割を果たしています。

石巻市では平成26年度からオリーブ栽培が始まり、(農)みのりと(株)宮城リスタ大川などが栽培に取り組んでおり、オリーブオイルの販売を行っています。

10月2日、大川地区の釜谷ほ場での収穫が行われ、石巻市、(農)みのり、(株)宮城リスタ大川などの関係者が集まり搾油が行われました。

(◀ 収穫作業の様子)

東松島市宮戸では震災後に設立された「奥松島果樹生産組合 いちじくの里」によって、平成28年から桃やいちじく、柿といった果樹が栽培されています。

今年も7月下旬ごろから収穫作業が始まり、奥松島縄文村歴史資料館に隣接するほ場前の直売所で販売され、販売を心待ちにしていた人たちでにぎわいました。

(◀ 収穫前の桃)

「田んぼの学校」が開催されています



「田んぼの学校」は、多面的機能支払交付金事業の活動組織や管理体制整備推進協議会の普及・啓発活動として、管内の小学校にて毎年度開催されています。

8月以降も以下のとおり田植え体験や農業水利施設の見学会、生き物調査、出前講座などが実施されており、農業・農村について関心と理解を深める活動が実施されています。

小学校名	実施日	実施内容	主催団体
北上小学校	9月22日月曜日	稲刈り体験	北上地区保全会
広渕小学校	8月 5日火曜日 9月26日金曜日	水稻生育・水質・生き物調査 稲刈り体験	広渕ふるさと保全会広域協定



### ▲ 水稻生育調査（広渕小学校）



### ▲ 稲刈り体験（北上小学校）

**共同活動中のクマ被害に注意！**

県内ではクマの目撃件数が急増しています。9月から11月にかけては死亡事故を含む人身被害も発生しており、依然としてリスクが高い状況が続いています。

東北地方では、多面的機能支払交付金の共同活動中に襲われる被害も報告されています。クマの活動が活発になる早朝・夕暮れ時の作業は避け、鈴やラジオで音を出してこちらの存在を知らせるなど、十分な対策をお願いいたします。また、事前に近隣の目撃情報を確認し、出没情報がある場合は作業の延期や中止をご検討ください。

※クマの出没により当初の計画通りに活動ができない場合は、管轄の自治体へお問い合わせください。



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地

(宮城県石巻合同庁舎4階)

Tel 0225(95)1411 (内) 2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲ 部HP